



図書館展示企画「祇園祭 その歴史と風俗」を公開中 木版画で描いた祇園祭の歴史と人々の暮らし

会 期：2026年6月29日（月）～8月7日（金）

場 所：京都橋大学図書館2階 展示スペース

京都橋大学（京都市山科区、学長：岡田知弘）では、6月29日から本学図書館にて、企画展「祇園祭 その歴史と風俗」を開始しました。7月の祇園祭開催に合わせ、所蔵する江戸時代後期から明治時代初期にかけての貴重書や、祇園祭関連図書を約130点展示します。

今回の企画展では、木版画で色彩豊かに祇園祭を描いた貴重書を2023年以来、3年振りに展示します。『京都祇園祭礼鉾之圖 玉蘭齋貞秀〔画〕・藤岡屋慶次郎』は鳥瞰図の第一人者として当時人気を誇った絵師・玉蘭齋貞秀が描いた大判3枚続の鮮やかな錦絵です。京都の祭りの絵にもかかわらず、江戸の有名版元・藤岡屋慶次郎から売り出され、広く庶民に愛されました。また、『山鉾之次第 江戸後期刊・山中長兵衛版』は京都の老舗書林・山中長兵衛が発行した一枚刷りの祭礼プログラムで、当時の祇園祭の山鉾巡行の順番や各山鉾のイラスト、特徴などがまとめられています。これらの貴重書から、江戸と京都のそれぞれでどのように祇園祭が愛されていたか、その歴史と人々の暮らしを感じ取ることのできる展示構成としています。

こうした貴重書のほか、祇園祭に関連する図書を幅広く展示することで、ネット検索やAIでは代替できない歴史の重みや町衆の息遣いを直接学び取り、祇園祭という伝統文化について理解を深める機会にしたいと考えています。

【企画展示「祇園祭 その歴史と風俗」概要】

開催期間 2026年6月29日（月）～8月7日（金）

開催場所 京都橋大学 図書館2階 展示スペース

開館時間 8：45～20：30（7月30日～8月7日は8：45～17：15）

※土曜日は8：45～17：15、日曜日は休館

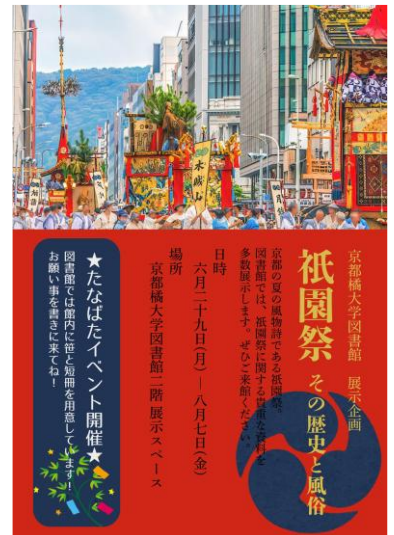
【主な展示】

●祇園祭 関連図書

- ・祇園祭（編集）祇園祭編纂委員会，祇園祭山鉾連合会
- ・京都町なかの暮らし（著）寿岳 章子（草思社）
- ・近代京都と文化「伝統」の再構築（編）高木博志（思文閣出版） 他

●貴重書

- ・京都祇園祭礼鉾之圖 / 玉蘭齋貞秀〔画〕 藤岡屋慶次郎
- ・山鉾之次第 江戸後期刊 山中長兵衛版
- ・京都祇園會圖繪 浅井廣信著畫 笹田榮壽堂 他



【本学図書館の一般利用について】

本学図書館は、地域社会に対する知的資源の還元の一環として、資料の貸出利用を希望する一般市民の方（18歳以上）も所定の手続きを行っていただくことで、生涯学習や教育研究のために利用することができます。

利用手続：館内カウンターにてユーザー登録（要・本人確認書類）

利用詳細：本学図書館ウェブサイトをご確認ください。



◀ 京都橋大学図書館
ゲストユーザー利用
について

●取材についてのお問い合わせ先

京都橋大学広報課 担当：立木、前川 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp

【「祇園祭 その歴史と風俗」の開催模様】



図書館2階 展示スペース



貴重書展示の様子



京都祇園祭礼鉾之圖 / 玉蘭齋貞秀 [画] 藤岡屋慶次郎



山鉾之次第 江戸後期刊 山中長兵衛版



京都祇園會圖繪 浅井廣信著畫 笹田榮壽堂



祇園祭関連図書の展示

●取材についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当：立木、前川 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp